

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社銀座山形屋

コード番号 8215 URL <http://www.ginyama.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山形 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 渡辺 光潤

TEL 03-6680-8711

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,078	4.8	△80	—	△27	—	△31	—
26年3月期第2四半期	1,983	2.4	△109	—	△45	—	△54	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 106百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△1.81	—
26年3月期第2四半期	△3.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	4,485	—	2,899	—	64.6	167.95
26年3月期	4,466	—	2,792	—	62.5	161.77

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,899百万円 26年3月期 2,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,593	1.6	109	33.2	150	△9.2	125	△5.3	7.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	18,044,715 株	26年3月期	18,044,715 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	782,853 株	26年3月期	782,169 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	17,262,124 株	26年3月期2Q	17,263,469 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により円安・株高が進み、全体として緩やかな景気回復基調にありました。しかしながら、消費税率の引き上げによる個人消費低迷の懸念や輸入資材・原油等の高騰懸念などから、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況下において当社グループは「世界のオーダーメイド企業をつくる」を合言葉に「品質の改善・向上」・「100%のリピートオーダーを目指す」を目標にグループ企業一体となり収益改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は小売事業及び受託縫製事業の受注が順調に推移したことから2,078百万円(前年同四半期比4.8%増)となり、利益面は売上高の増加に伴う売上総利益の増加等と販売費及び一般管理費の削減等に努めたことにより営業損失は80百万円(前年同四半期は109百万円の営業損失)となりました。また経常損失は、受取配当金及び助成金収入があったこと等により27百万円(前年同四半期は45百万円の経常損失)となりました。四半期純損失は法人税等の計上3百万円等があり31百万円(前年同四半期は54百万円の四半期純損失)となり前年同四半期に引き続き改善傾向となりました。

セグメント別では、小売事業が売上高894百万円(前年同四半期比7.7%増)、セグメント損失13百万円(前年同四半期は46百万円のセグメント損失)、卸売事業が売上高736百万円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益6百万円(前年同四半期比297.9%増)、受託縫製事業が売上高439百万円(前年同四半期比12.4%増)、セグメント損失42百万円(前年同四半期は43百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して19百万円増加し、4,485百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度と比較して230百万円減少しました。主な要因は、季節要因による売掛金の減少及び現金預金の減少によるものであります。

固定資産は前連結会計年度と比較して249百万円増加しました。これは主に受託縫製事業において設備投資を行ったことによる有形固定資産の増加41百万円及び、投資有価証券の時価の上昇に伴う評価差額金を計上したことによる増加214百万円があった等によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して87百万円減少し1,586百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末において消費税の駆け込みにより、イージーオーダーの前受金(流動負債のその他に含む)が通常の年に比べ多額に発生していましたが、当第2四半期までに製品が引渡しされたことにより振替されたことによるものであります。

純資産の部においては、主にその他有価証券評価差額金が137百万円増加した結果、当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比較して138百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,981	814,001
受取手形及び売掛金	566,359	406,977
商品及び製品	132,338	151,348
仕掛品	23,402	22,503
原材料	114,464	114,848
その他	54,616	64,556
貸倒引当金	△1,808	△1,248
流動資産合計	1,803,355	1,572,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	106,870	107,876
その他(純額)	281,869	322,245
有形固定資産合計	388,740	430,122
無形固定資産		
その他	4,034	3,679
無形固定資産合計	4,034	3,679
投資その他の資産		
投資有価証券	1,375,074	1,589,168
敷金及び保証金	781,215	772,323
その他	127,228	130,500
貸倒引当金	△13,013	△13,013
投資その他の資産合計	2,270,505	2,478,979
固定資産合計	2,663,280	2,912,780
資産合計	4,466,635	4,485,768
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,687	142,020
未払法人税等	16,353	10,027
ポイント引当金	35,576	35,690
その他	431,528	342,291
流動負債合計	663,145	530,028
固定負債		
役員退職慰労引当金	92,561	84,893
退職給付に係る負債	592,785	589,117
資産除去債務	195,483	196,196
その他	130,082	186,347
固定負債合計	1,010,913	1,056,554
負債合計	1,674,059	1,586,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	△99,209	△130,471
自己株式	△79,517	△79,617
株主資本合計	2,548,834	2,517,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243,742	381,713
その他の包括利益累計額合計	243,742	381,713
純資産合計	2,792,576	2,899,185
負債純資産合計	4,466,635	4,485,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,983,028	2,078,493
売上原価	954,203	995,733
売上総利益	1,028,825	1,082,759
販売費及び一般管理費	1,138,536	1,163,411
営業損失(△)	△109,711	△80,651
営業外収益		
受取利息	802	689
受取配当金	22,331	23,771
受取手数料	6,334	6,528
貸倒引当金戻入額	23,529	—
助成金収入	3,237	18,691
雑収入	8,044	4,673
営業外収益合計	64,279	54,354
営業外費用		
支払利息	168	382
雑損失	102	471
営業外費用合計	271	853
経常損失(△)	△45,703	△27,151
特別損失		
減損損失	3,049	—
特別損失合計	3,049	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,752	△27,151
法人税、住民税及び事業税	5,692	3,881
法人税等調整額	△27	230
法人税等合計	5,665	4,111
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,418	△31,262
四半期純損失(△)	△54,418	△31,262

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,418	△31,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,159	137,971
その他の包括利益合計	19,159	137,971
四半期包括利益	△35,258	106,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,258	106,708
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,752	△27,151
減価償却費	24,263	26,702
減損損失	3,049	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24,757	△560
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,240	△7,668
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,497	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△3,667
受取利息及び受取配当金	△23,134	△24,460
支払利息	168	382
売上債権の増減額(△は増加)	120,350	159,382
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,604	△18,495
仕入債務の増減額(△は減少)	△109,338	△37,667
未払金の増減額(△は減少)	△95,701	△44,598
その他	△14,185	△56,203
小計	△181,904	△34,006
利息及び配当金の受取額	23,134	24,460
利息の支払額	△168	△382
法人税等の支払額	△14,893	△12,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	△173,832	△22,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△37,187	△61,469
有形固定資産の売却による収入	4,346	1,026
投資有価証券の取得による支出	△461	△20,483
敷金及び保証金の回収による収入	11,197	8,592
敷金及び保証金の差入による支出	△2,335	—
貸付金の回収による収入	47,108	—
その他	△1,901	△3,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,767	23,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△128	△100
リース債務の返済による支出	△4,182	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,311	△1,107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,376	19
現金及び現金同等物の期首残高	746,860	813,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	589,484	814,001

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	830,574	753,982	391,266	1,975,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	772,827	772,827
計	830,574	753,982	1,164,093	2,748,650
セグメント利益又は損失(△)	△46,919	1,618	△43,136	△88,437

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△88,437
棚卸資産の調整額	2,198
その他の調整額	△4,954
全社収益(注1.)	129,590
全社費用(注2.)	△148,108
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△109,711

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	894,715	736,727	439,933	2,071,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	789,579	789,579
計	894,715	736,727	1,229,513	2,860,956
セグメント利益又は損失（△）	△13,315	6,440	△42,711	△49,585

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△49,585
棚卸資産の調整額	348
その他の調整額	△4,751
全社収益（注1.）	122,687
全社費用（注2.）	△149,350
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△80,651

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。